LinuC Open Network

アウトプット共創型 エンジニアコミュニティ

IT技術者の、成長と活躍を後押しする

LinuC Open Network（LiON）は、ITエンジニアの皆様が自由に参加できるオープンなコミュニティです。認定試験や教材の開発、勉強会や情報共有など、社会に貢献する様々なアウトプット創出に向けて相互に協力し合える場を提供しています。



参加無料

どなたでも参加OK

会員2,200名以上が活動中

LiONのプロジェクト活動

01 認定試験開発プロジェクト



現場で活躍するIT技術者が集い、現場で使える技術を問う認定試験を開発。現在はHTML5プロフェッショナル認定試験や、LinuCレベル1・2の改訂プロジェクトが進行中です。

02 教材開発プロジェクト



市販にはない教材をメンバーが共同開発し、クリエイティブコモンズライセンスで公開しています。直近では『クラウドネイティブ教科書』と『Linuxネットワーク標準教科書』完成しました。

03 受験者勉強会プロジェクト



認定試験の受験者向けに、無料の勉強会をオンラインで定期開催。LinuC101試験、レベル2試験勉強会などの企画担当や講師担当を募集中。合格者が講師に挑戦してステップアップもできます！

04 社会実装プロジェクト





生成AIやWeb3など、新しい技術の社会での活用方法を検討・実践。企業内ローカルLLM構築ガイドライン制作や、ITエンジニア・インストラクターとしての経験を活かして自発的に学校教育に関わる活動にも挑戦中です！

一緒に活動していただけるメンバーを募集中！

入門者からエキスパートまで、スキルレベル・分野・立場を問わずご参加いただけます

LiONの最新トピックス



TOPIC 01 会員専用Slackで、日々活発に交流中！

自己紹介から技術相談、各プロジェクトの議論まで、多数のチャンネルで毎日活発なやり取りが行われています。会社の枠を超えて、気軽につながれる場です。



TOPIC 02 第1回LiON総会を開催！

コミュニティの1年間の活動成果と今後の展望を、メンバー全員で共有する「LiON総会」を開催しました。イベントレポートはWebサイトで公開中です。



TOPIC 03 成果物「ローカルLLMガイドさん」を公開！

社会実装プロジェクトの成果物として、ローカルLLMの導入を5人のガイドキャラクターがサポートするWebガイド「ローカルLLMガイドさん」を公開しています。

LiONの活動概要

1	2	3	4	5
交流の推進	勉強会の推進	活躍機会の推進	プロジェクト	分科会活動
会社を超えた仲間づくり	企画・実施・参加の推進	技術情報発信や講師登壇	業界貢献のための活動	テーマ別活動をサポート

✓仲間と得られる学びと成長　✓業界の有力なコネクション　✓セルフブランディングの機会

参加方法（どなたでも無料でご参加いただけます）

- STEP 1　EDUCO-IDを取得　LPI-Japan認定試験用のID
- STEP 2　Webサイトにサインイン　EDUCO-IDでログインし、規約に同意
- STEP 3　会員専用Slackに参加　会員ページから参加して活動スタート！

まずは
Webサイトへ
linuc.community

LPI-Japan 教科書シリーズ

Linux の基礎からサーバー構築・システム管理・データベース・クラウドネイティブまで。

コミュニティが開発し、誰もが自由に使える実習中心の教科書です。

本シリーズは、広く多くの方に使っていただくことを意図して、LinuC Open Network コミュニティのプロジェクトにて開発された教材です。コミュニティに集う現場のエンジニアや教育者による勉強会・執筆・レビューといった日々の活動の中から、これらの教科書は生まれました。教育機関の授業、企業の研修、個人の独習など、どのような場面でも自由に利用できます。すべての教科書は実習(ハンズオン)中心で、実際に手を動かしながら現場で通用するスキルを身につけられます。

\# 手を動かすから理解が進む、未経験から段階的に学べる実践型テキスト

$ Linux 入門 | サーバー構築 | システム管理 | ネットワーク | データベース | クラウドネイティブ

01 BASIC

Linux 標準教科書

対象: はじめて Linux を学ぶ方 / 学生 / 新人エンジニア

Linux 学習の出発点となる入門教科書。コマンドラインの基本操作、ファイル・ディレクトリ操作、vi エディタ、ユーザーとパーミッション管理、シェルスクリプトの初歩までを、豊富な実習を通じて丁寧に解説します。

linuc.org/textbooks/linux/

02 SERVER

Linux サーバー構築標準教科書

AlmaLinux 版　Ubuntu 版 NEW!

対象: サーバー構築を実践的に学びたい方 / インフラエンジニア

DNS サーバー、Web サーバー、メールサーバーなどの構築を一から実習し、パッケージ管理や systemd によるサービス管理、セキュリティの基礎まで学びます。RHEL 互換の AlmaLinux 版と、新登場の Ubuntu 版の 2 種類を用意。学習内容は共通で、利用するディストリビューションに合わせて選べます。

linuc.org/textbooks/server/

03 ADMIN

Linux システム管理標準教科書

対象: 構築後の運用管理を担う方 / 運用担当者

「作る」の次は「守り、動かし続ける」。ユーザー・グループ管理、ネットワーク管理、systemd によるサービス管理、SELinux や LVM を含むファイルシステム管理から、パッケージ管理、システム監視、トラブルシューティングまで、稼働中の Linux システムを安定運用する実務スキルを実習形式で習得します。

linuc.org/textbooks/admin/

04 NETWORK

Linux ネットワーク標準教科書 NEW!

対象: ネットワークの仕組みを基礎から学びたい方 / Linux でネットワークを扱う方

標準教科書シリーズで省略されていたネットワークの解説を補完する一冊。IP アドレス、TCP/UDP/ICMP、パケットフィルタリング、ルーティング、ネットワークインターフェースの管理まで、実際に Linux を操作しながら仕組みを基礎から学びます。

linuc.org/textbooks/network/

05 DATABASE

オープンソースデータベース標準教科書

対象: データベースの基礎から実践までを学びたい方

オープンソース RDBMS の代表格である PostgreSQL を教材に、データベースの概念、SQL によるデータ操作、テーブル設計、トランザクション、パフォーマンスチューニング、バックアップまで、実際にデータベースを操作しながら体系的に学びます。

oss-db.jp/ossdbtext/

06 CLOUD

クラウドネイティブ教科書 NEW!

対象: コンテナ・クラウド技術を学びたい方 / モダンな開発・運用を目指す方

クラウドネイティブという仕組みが「なぜ必要になったのか」を構造として捉え、変化を前提とした設計の考え方を原理から運用まで体系的に理解します。ブラウザ上のハンズオンで実際の振る舞いを体感でき、本格的な学習へ進む入口となる一冊です。

linuc.org/textbooks/cloudnative/

本教科書は LinuC Open Network コミュニティの活動から生まれています

試験開発、教材開発、レビュー、翻訳、さらには生成 AI・Web3 といった最新技術の社会実証（PoC）にいたるまで、私たちの活動は多くの有志の力によって形作られています。「学びたい」という方も、「試験開発や教材作りに携わりたい」「教えるスキルを活かしたい」という方も、どなたでも大歓迎です。最新情報やイベントの案内は、ぜひコミュニティサイトをご覧ください。

>>プロジェクトへの参加・コントリビューション（貢献活動）をお待ちしています！

linuc.community

LPI-JAPAN

LinuC

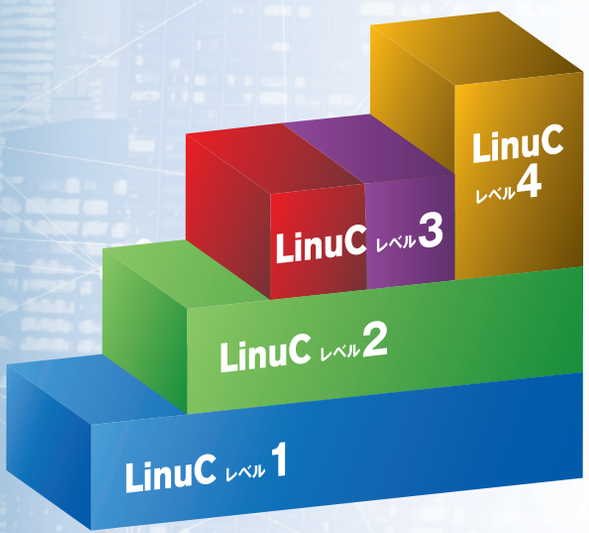
現場で役立つ実践スキルを
段階的に習得できるLinux技術者認定

技術力なら
LinuC



LinuCなら、現場で役立つ実践スキルを

「LinuC（リナック）」は、IT 技術者を成長に導くLinux 技術者認定のデファクトスタンダードです。
実務に即した知識とスキルを段階的に習得できるよう、4 つのレベルで体系的に試験が構成されています。
「LinuC」は、200 を超える企業・教育機関とのパートナーシップ、そして技術者コミュニティに所属する
1,500 名以上のエンジニアによって支えられています。これらの協働により、「LinuC」は常に最新の
技術動向と現場のニーズを反映し、IT 人材の育成とオープンソース技術の発展に貢献しています。



LinuC レベル4
システムアーキテクト
4SA01試験 | 4SA02試験

LinuC レベル3
プラットフォームスペシャリスト
3PS試験

LinuC レベル3
セキュリティスペシャリスト
3SS試験

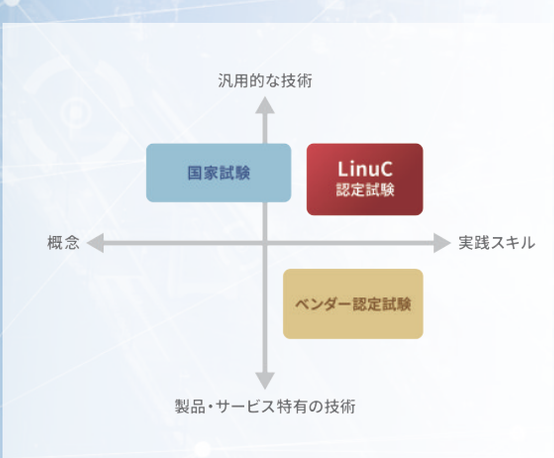
LinuC レベル2
201試験 | 202試験

LinuC レベル1
101試験 | 102試験



FEATURE 01 4つのレベルで段階的にステップアップできる

LinuCは、システム構築・運用管理から、大規模システムのアーキテクチャ設計・構築までを4つのレベルで体系化した認定試験です。レベルごとに求められるスキルと知識を明確に定義しており、ITエンジニアはステップを踏んで着実に実践力を高めることができます。



FEATURE 02

実務に即したスキルと知識を体系的に学べる

LinuCは、特定のベンダーに依存しないオープンテクノロジーの技術者認定です。試験問題の開発には、現場の第一線で活躍するITエンジニアが多数参加しています。何度も議論を重ねることで、グローバルで標準化された技術領域をカバーすることはもちろん、実務の現場で本当に役立つスキルと知識が体系化されています。

受験予約

01 > 受験者マイページアカウント「EDUCO-ID」*1を取得（すでに取得済みの場合は不要）
02 > 受験者マイページにログインし、「受験予約・変更・キャンセル」を押す
03 > テストセンターのWebページで受験科目・会場・受験日を選択

◀◀◀ *1 https://ma.educo-j.or.jp/caf/Xamman/register

※団体受験をご希望の際は、LPI-Japanまで直接お問い合わせください。

段階的に習得できます



FEATURE 03

現場で求められる最新技術を反映

LinuCは、従来のLinux領域にとどまらず、クラウド基盤を支える仮想化・コンテナ技術をはじめ、最新のITインフラ技術を幅広く取り入れています。進化し続けるIT環境に対応できる人材育成を支援する認定制度として、多くの企業で活用されています。

アウトプット共創型エンジニアコミュニティ

LinuC Open Network

LinuC Open Network（LiON）は、ITエンジニアが自由に参加できるオープンなコミュニティです。
LinuCの試験開発、標準教科書シリーズをはじめとした学習教材開発、
各種勉強会などのプロジェクトが、社会に貢献するアウトプットの創出に向けて取り組んでいます。

https://linuc.community/

無料で提供されている入門書

Linux 標準教科書シリーズ

IT技術者コミュニティ「LinuC Open Network」の学習教材開発プロジェクトの協力によって開発された
初心者向けのLinux学習用教材。
最新の技術動向への対応や新たなコンテンツの追加などのアップデートが随時行われています。



20万ダウンロードを突破した
Linux入門書の決定版



サーバー構築初学者の学習に
使える実践的な教科書



システム管理者が知っておくべき
運用管理の基本が集約

https://linuc.org/measures/#text01

アカデミック認定校

専門講師からしっかり学ぶなら
アカデミック認定校

https://lpi.or.jp/school/list/

学習環境構築ガイド

自分専用のLinux学習環境を
構築するための手順書（無料）

https://linuc.org/measures/

クラウド時代の即戦力の証明

LinuC リナック 1
Level 101/102

物理・仮想 Linuxサーバーの操作と運用なら、LinuC レベル 1

ITSS レベル 1

仮想環境を含むLinuxシステムの基本操作とシステム管理が行える技術者として認定されます。

・仮想マシンとコンテナを含むLinuxサーバーの操作と運用・管理ができる。
・クラウドのセキュリティを理解し、安全に運用できる。
・オープンソースの文化を理解し、業務に活用できる。

出題範囲

LinuCレベル1に認定されるためには、2試験（101試験と102試験）を5年以内に合格する必要があります。

101試験

主題	内容
Linux のインストールと仮想マシン・コンテナの利用	・Linux のインストール、起動、接続、切断と停止 ・仮想マシン・コンテナの概念と利用 ・ブートプロセスと systemd ・プロセスの生成、監視、終了 ・デスクトップ環境の利用
ファイル・ディレクトリの操作と管理	・ファイルの所有者とパーミッション ・基本的なファイル管理の実行 ・ハードリンクとシンボリックリンク ・ファイルの配置と検索
GNU と Unix のコマンド	・コマンドラインの操作 ・フィルタを使ったテキストストリームの処理 ・ストリーム、パイプ、リダイレクトの使用 ・正規表現を使用したテキストファイルの検索 ・エディタを使った基本的なファイル編集の実行
リポジトリとパッケージ管理	・apt コマンドによるパッケージ管理 ・Debian パッケージ管理 ・yum コマンドによるパッケージ管理 ・RPM パッケージ管理
ハードウェア、ディスク、パーティション、ファイルシステム	・ハードウェアの基礎知識と設定 ・ハードディスクのレイアウトとパーティション ・ファイルシステムの作成と管理、マウント

102試験

主題	内容
シェルおよびスクリプト	・シェル環境のカスタマイズ ・シェルスクリプト
ネットワークの基礎	・インターネットプロトコルの基礎 ・基本的なネットワーク構成 ・基本的なネットワークの問題解決 ・クライアント側の DNS 設定
システム管理	・アカウント管理 ・ジョブスケジューリング ・ローカライゼーションと国際化
重要なシステムサービス	・システム時刻の管理 ・システムのログ ・メール配送エージェント (MTA) の基本
セキュリティ	・セキュリティ管理業務の実施 ・ホストのセキュリティ設定 ・暗号化によるデータの保護 ・クラウドセキュリティの基礎
オープンソースの文化	・オープンソースの概念とライセンス ・オープンソースのコミュニティとエコシステム

出題範囲の詳細と最新情報は、
https://linuc.org/linuc1/range/
をご確認ください。

学習教材

LinuC レベル 1 認定教材

例題解説

技術解説動画

クラウド時代に活躍する技術者の証明

LinuC リナック Level 2 201/202

仮想マシン・コンテナを含むLinuxシステム、ネットワークの設計・構築なら、LinuC レベル 2

ITSS レベル2

仮想環境を含むLinuxシステムの設計、ネットワーク構築において、アーキテクチャに基づいた設計、導入、保守、問題解決ができる技術者として認定されます。

・Linuxシステムの設計、構築、監視、トラブルシューティングができる。
・仮想マシンやコンテナの仕組みを理解し、その管理と運用ができる。
・セキュリティとシステムアーキテクチャの基本を理解し、サービスの設計、構築、運用・管理ができる。

出題範囲

LinuCレベル2に認定されるためには、有意なLinuCレベル1認定を保有し、2試験（201試験と202試験）を5年以内に合格する必要があります。

201試験

主題	内容
システムの起動とLinuxカーネル	・ブートプロセスと GRUB ・システム起動のカスタマイズ ・Linux カーネルの構成要素 ・Linux カーネルのコンパイル ・カーネル実行時における管理とトラブルシューティング
ファイルシステムとストレージ管理	・ファイルシステムの設定とマウント ・ファイルシステムの管理 ・論理ボリュームマネージャの設定と管理
ネットワーク構成	・基本的なネットワーク構成 ・高度なネットワーク構成 ・ネットワークの問題解決
システムの保守と運用管理	・makeによるソースコードからのビルドとインストール ・バックアップとリストア ・ユーザへの通知 ・リソース使用状況の把握 ・死活監視、リソース監視、運用監視ツール ・システム構成ツール
仮想化サーバー	・仮想マシンの仕組みと KVM ・仮想マシンの作成と管理
コンテナ	・コンテナの仕組み ・Docker コンテナとコンテナイメージの管理

202試験

主題	内容
ネットワーククライアントの管理	・DHCP サーバーの設定と管理 ・PAM 認証 ・LDAP クライアントの利用方法 ・OpenLDAP サーバーの設定
ドメインネームサーバー	・BIND の設定と管理 ・ゾーン情報の管理 ・セキュアな DNS サーバーの実現
HTTP サーバーとプロキシサーバー	・Apache HTTP サーバーの設定と管理 ・OpenSSL と HTTPS の設定 ・nginx の設定と管理 ・Squid の設定と管理
電子メールサービス	・Postfix の設定と管理 ・Dovecot の設定と管理
ファイル共有サービス	・Samba の設定と管理 ・NFS サーバーの設定と管理
システムのセキュリティ	・iptables や firewalld によるパケットフィルタリング ・OpenSSH サーバーの設定と管理 ・OpenVPN の設定と管理 ・セキュリティ業務
システムアーキテクチャ	・高可用システムの実現方式 ・キャパシティプランニングとスケーラビリティの確保 ・クラウドサービス上のシステム構成 ・典型的なシステムアーキテクチャ

出題範囲の詳細と最新情報は、
https://linuc.org/linuc2/range/
をご確認ください。

学習教材

LinuC レベル 2 認定教材

例題解説

技術解説動画

エンタープライズレベルのシステムを
構築するための専門技術力

LinuC リナック Level. 3 3PS/3SS

柔軟かつ高可用な Linux システムを構築・運用できるスペシャリストの証明 LinuC レベル 3 プラットフォームスペシャリスト

セキュアな Linux システムを構築・運用できるスペシャリストの証明 LinuC レベル 3 セキュリティスペシャリスト

ITSS レベル3

出題範囲

LinuCレベル3 プラットフォームスペシャリストに
認定されるためには、有意なLinuCレベル2認定を保有し、
3PS試験に合格する必要があります。

3PS 試験

主題	内容
仮想化基盤の構築	・仮想化技術の動作原理と最適化 ・仮想ディスクと QEMU の操作 ・仮想化環境のセキュリティ設定 ・仮想マシンの管理と OVF の活用 ・仮想化プラットフォームの利用
仮想化基盤のネットワークとストレージ	・仮想化基盤のネットワーク構築 ・クラスタ・分散ストレージの理解 ・Ceph の理解と実装
コンテナ技術の利用	・コンテナの基本原理と内部構造 ・コンテナの操作と管理
プラットフォームの最適化	・カーネルパラメータによるリソース最適化 ・カーネルパラメータによるネットワーク最適化
高可用性プラットフォームの構築	・ロードバランサーの構築 ・Web サーバーによる負荷分散 ・フェイルオーバークラスタの構築
プラットフォームの運用管理	・インフラプロビジョニングの自動化 ・初期設定とインストールの自動化 ・インフラ構成のGit管理とパイプラインの自動化 ・Zabbix による監視システムの構築 ・バックアップツールの利用

出題範囲の詳細と最新情報は、
https://linuc.org/linuc3/3ps/range/
をご確認ください。

LinuCレベル3 セキュリティスペシャリストに
認定されるためには、有意なLinuCレベル2認定を保有し、
3SS試験に合格する必要があります。

3SS 試験

主題	内容
アクセスおよび権限制御の強化	・Linux Access Control Lists によるアクセス制御 ・SELinux による強制アクセス制御 ・AppArmor による強制アクセス制御 ・システムコールの制御 ・Linux Capabilities による権限制御
システム保護と監査	・カーネルセキュリティとシステムリソース保護 ・パケットフィルタリングの実装 ・暗号化ファイルシステム ・Linux システムのセキュリティ監査
堅牢なコンテナ設計	・コンテナのアクセス制御と権限制御 ・Rootless モード
セキュアプロトコルによる各種機能の実装	・Let's Encrypt による証明書管理 ・Web サーバーのセキュリティ強化 ・DNS over TLS/HTTPS ・DNSSEC ・メールセキュリティ
認証・認可	・PAM による認証制御 ・FreeIPA による統合認証 ・Keycloak による認証認可
インシデントの検知・防止	・ネットワークセキュリティ ・ホストセキュリティ ・セキュリティ診断

出題範囲の詳細と最新情報は、
https://linuc.org/linuc3/3ss/range/
をご確認ください。

プレイングシステムアーキテクトとしての信頼

IT プロジェクトを成功に導く 上級エンジニアの証明

LinuC レベル 4 システムアーキテクト

LinuC リナック 4 Level 4SA01/4SA02

要件に基づいて処理方式から具体的な実装までそれぞれの抽象度で設計ができ、
実際に動くシステムを作り切れる「プレイングシステムアーキテクト」として認定されます。

ITSS レベル4

・分散システムの処理構造について、典型的なパターンの特長を理解し、使い分けられる。
・プラットフォーム／ミドルウェア／ネットワーク／ストレージについて、Linux/OSSによる具体的な構成を決定して構築・設定でき、
クラウドサービスの機能を用いたりリソースを動的に確保するなどの構成も必要に応じて選択できる。
・非機能要件のそれぞれを実現するための要素技術を理解し、Linux/OSSにより実践できる。また、クラウドネイティブな
設計アプローチや開発手法を理解し、システムに採り入れられる。
・安定稼働と継続的開発を見据えた監視やテスト体制を設計し、また運用中のトラブル対応を主導できる。

出題範囲

**LinuCレベル4 システムアーキテクトに認定されるためには、有意なLinuCレベル2認定を保有し、
2試験（4SA01試験と4SA02試験）に5年以内に合格する必要があります。**

4SA01 試験

主題	内容
システムアーキテクチャ	・アーキテクチャの設計原則と主要パターン ・柔軟性を高めるアーキテクチャパターン
ネットワークとストレージの選定	・拠点内のネットワーキング ・拠点間のネットワーキング ・ストレージとアクセスプロトコル ・集中型および分散型ストレージ
可用性の設計	・フェイルオーバークラスタ ・負荷分散と障害の局所化 ・データレプリケーションと災害対策
性能・拡張性の設計	・性能見積もりと評価 ・性能の改善 ・性能の拡張

4SA02 試験

主題	内容
仮想マシンとコンテナの設計	・仮想マシンの設計と管理 ・コンテナの設計とビルド ・コンテナオーケストレーション
セキュリティ	・認証認可とアクセス制御 ・セキュリティの予防措置 ・セキュリティインシデントの検出
監視と分析	・ログ・メトリクス・トレースの取得・収集 ・監視と対処 ・収集したデータの保全と分析
継続的開発とテスト・デプロイ	・テストの設計と効率化 ・機能変更時の設計 ・継続的な統合とデプロイ
トラブルシューティング	・障害時の基本手順 ・ケーススタディ

出題範囲の詳細と最新情報は、
https://linuc.org/linuc4/range/
をご確認ください。

学習教材

LinuC レベル 4 システム
アーキテクト認定教材

例題解説

Linux 技術者認定「LinuC」の詳細

	LinuCレベル1	LinuCレベル2	LinuCレベル3 プラットフォームスペシャリスト	LinuCレベル3 セキュリティスペシャリスト	LinuCレベル4 システムアーキテクト
受験の前提条件	受験のための実務経験や前提資格保有条件はありません。				
試験実施言語	日本語・英語		日本語		日本語・英語
受験費用	1試験あたり16,500円（税込）		1試験あたり27,500円（税込）		
試験実施方式	コンピュータベーステスト（CBT）※1				
問題数	約60問/1試験				約40問/1試験
試験時間	90分 ※2				
日時・会場	受験会場は、全国各地の試験センターでの受験か、自宅や職場からのオンライン受験（OnVUE受験）のどちらかを選ぶことができます。 基本的にはご都合の良い日時をお選びいただけますが、テストセンター受験とOnVUE受験のいずれにおいても予約の空き状況次第となりますので、ご注意ください。 なお、OnVUE受験の場合は受験環境の確認などが必要となります。				
認定要件	「101試験」と「102試験」の2試験に合格するとレベル1に認定されます。受験する順番はどちらからでも構いません。 ※3	「有意なLinuCレベル1認定」を持ち、かつ「201試験」と「202試験」の両方に合格すると、LinuCレベル2に認定されます。受験する順番はどちらからでも構いません。 「有意なLinuCレベル1認定」を持たずにLinuCレベル2の2試験に合格した場合、その時点では認定されませんが、レベル1認定を取得した時点でLinuCレベル2に認定されます。 ※4	「有意なLinuCレベル2認定」を持ち、かつ「3PS試験」に合格すると、LinuCレベル3 プラットフォームスペシャリストに認定されます。 「有意なLinuCレベル2認定」を持たずに試験に合格した場合、その時点では認定されませんが、レベル2認定を取得した時点でLinuCレベル3 プラットフォームスペシャリストに認定されます。	「有意なLinuCレベル2認定」を持ち、かつ「3SS試験」に合格すると、LinuCレベル3 セキュリティスペシャリストに認定されます。 「有意なLinuCレベル2認定」を持たずに試験に合格した場合、その時点では認定されませんが、レベル2認定を取得した時点でLinuCレベル3　セキュリティスペシャリストに認定されます。	「有意なLinuCレベル2認定」を持ち、かつ「4SA01試験」と「4SA02試験」の両方に合格すると、LinuCレベル4 システムアーキテクトに認定されます。受験する順番はどちらからでも構いません。 「有意なLinuCレベル2認定」を持たずに LinuCレベル4 システムアーキテクトの2試験に合格した場合、その時点では認定されませんが、レベル2認定を取得した時点で LinuCレベル4 システムアーキテクトに認定されます。 ※5
合否結果	テストセンターで受験をした場合は、全ての問題を回答し終えて「テスト終了」ボタンを押すとその場でテスト結果が表示されます。 オンライン受験（OnVUE受験）の場合は、試験終了後に受験者ご自身のピアソンのページにログインすることで確認できます。 ※6				
学習期間目安	1か月～3か月程度	3か月～半年程度	半年～1年程度		
試験別の有効期限	101試験と102試験の両方の試験を5年以内に合格する必要があります。	201試験と202試験の両方の試験を5年以内に合格する必要があります。	——	——	4SA01試験と4SA02試験の両方の試験を5年以内に合格する必要があります。
有意性の期限	5年 ※7		5年 ※8		
再受験ポリシー	LinuCの再受験ポリシーは不合格の場合のみ適用されます。合格時は再受験ポリシーの対象外となります。 1回目の受験で不合格の場合に、LinuCの同一科目を受験する際、2回目の受験については、受験日の翌日から起算して7日目以降（土日含む）より可能となります。				

※1:団体受験用にペーパーテスト（PBT）もございます。
※2: 試験後のアンケート記入時間（約5分）を含みます。
※3:認定されるためには2試験（101試験と102試験）を5年以内に合格する必要があります。
※4:認定されるためには2試験（201試験と202試験）を5年以内に合格する必要があります。
※5:認定されるためには2試験（4SA01試験と4SA02試験）を5年以内に合格する必要があります。
※6:ペーパーテスト（PBT）の場合には、数週間後に郵送などの方法で結果をお知らせします。
※7:認定の有意性を維持するためには、認定日から5年以内に再認定が必要です。または、保有する認定レベルより上位の認定を5年以内に取得する必要があります。
※8:認定の有意性を維持するためには、認定日から5年以内に再認定が必要です。

メールマガジン「LinuC 通信」にご登録ください。

Linux 技術者認定「LinuC」の受験に挑戦する方のための情報マガジンです。例題解説、技術解説コラム、合格者の声、セミナー案内など、学習に役立つ情報をお届けします。

ご登録はこちら ▼
https://lpi.or.jp/mail-magazine/

詳しい内容の説明をご希望の方は、下記までお問い合わせください。

オープンテクノロジープロフェッショナル認定機関
特定非営利活動法人 エルピーアイジャパン
E-Mail：info@lpi.or.jp　https://linuc.org
詳しくはLinuCのホームページへ　LinuC　検索
@lpi_japan
@LPIJapan